

地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業

令和7年度当初予算案 1.0 億円（一）※（）内は前年度当初予算額

※令和4年度第二次補正予算額 3.0億円
令和5年度補正予算額 4.5億円
令和6年度補正予算額 2.4億円

1 事業の目的

- 〇 都道府県は、第8次医療計画（令和6～令和11年度）の取組や2025（令和7）年に向けた地域医療構想の実現のため、医療提供体制の構築を着実に進めるとともに、構築した体制についてPDCAサイクルを実施するため医療提供体制に関する評価・分析を行う必要がある。
- 〇 地域医療構想策定には、**地域の現場感覚とマッチしたデータ分析**が必要であるため、都道府県における**データ分析体制の構築**を支援。
- 〇 分析事例を集積し、**分析体制のベストプラクティス**を検討・実践することで、計画策定に限らず、2025（令和7）年に向けた地域医療構想の推進について、都道府県が**自立的に分析・企画・立案できる体制**の整備に繋げる。
- 〇 令和6年度（令和5年度補正予算）に実施の当事業の実施状況を**より多くの都道府県にフィードバック**して展開。

2 事業の概要

- 〇 都道府県を対象に、**都道府県におけるデータ分析チームの構築**を支援する。
- 〇 都道府県は、データ分析チームを活用して、地域（二次医療圏、構想区域）の詳細分析を実施することにより、**一層地域の実情に即した地域医療構想の評価**が可能となる。
- 〇 都道府県は、分析体制や分析結果、計画策定におけるデータに基づく議論の成果について事例発表を行い、**取組の横展開**や**事例の集積**を図り、次年度の実施要領に反映。

3 事業スキーム・実施主体等

補助基準額：1個所当たり30,000千円 補助率：定額
実施主体：都道府県 負担割合：国10/10

分析体制・分析手法の実践、分析体制の構築、事例の横展開・集積

分析体制の検証と活用

